

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所

コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥村 浩士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長

(氏名) 土谷 康彦

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト他向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,756	3.3	220	△11.6	187	△6.6	114	△58.1
24年2月期第2四半期	3,637	7.1	249	27.9	200	40.8	274	103.6

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 112百万円 (△63.6%) 24年2月期第2四半期 307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	26.66	—
24年2月期第2四半期	63.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	7,280	1,626	22.3
24年2月期	6,938	1,578	22.8

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 1,626百万円 24年2月期 1,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,326	2.0	460	14.9	396	22.8	238	△24.3	55.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	4,318,444 株	24年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	5,672 株	24年2月期	5,573 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	4,312,805 株	24年2月期2Q	4,312,937 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要や雇用環境の緩やかな改善に伴い、景気回復の兆しを見せておりましたが、欧州債務問題に端を発した世界的な景気減速懸念や中国ほか新興国における経済成長の鈍化、円高の長期化などの要因により、依然として、先行き不透明な環境が続いております。

化粧品業界は、経済産業省発表の「化粧品品目別出荷動向」（平成24年1月～7月累計）によると、スキンケア化粧品・メイクアップ化粧品ともに、低価格化の浸透などにより、出荷個数は増加をみているものの出荷金額は伸び悩んでおり、依然として厳しい市場環境となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期成長戦略の一つである「更なる成長に向けた事業構造改革プロジェクト（STEP－UP80）」の枠組みの中で、ファンデーション、ライナー・マスカラ、UV製品などの戦略的注力領域における新処方・新技術の開発、生産性向上及びコスト削減に向けた取り組み、製品開発力と技術力を活かしたグローバルな企画提案型営業などに注力してまいりました。しかし、円高等の影響により、全般的に輸出が前年同期と比べ伸び悩み、苦戦を強いられる結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高3,756百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益220百万円（同11.6%減）、経常利益187百万円（同6.6%減）、四半期純利益は114百万円（同58.1%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

国内の化粧品事業は、円高等の影響から輸出が伸び悩んだほか、ファンデーションやアイシャドー・チーク類が計画に比べて落ち込みましたが、クリーム類を中心としたスキンケア化粧品や口紅類、白粉・打粉類が前年同期を上回る受注を獲得した結果、国内全体の売上高は前年同期と比べ52百万円増加しました。

一方収益面では、「STEP－UP80」の施策として取り組んだ生産性向上のための設備投資により減価償却費や修繕費が増加したことに加え、今春より取り組んできた品質管理向上のための費用の増加などにより前年同期と比べ減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,238百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は211百万円（同28.8%減）となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州経済は、債務危機問題が深刻化するなか、消費需要の低迷や雇用情勢の悪化など、依然として厳しい情勢が続いております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、グループあげてのグローバルなマーケティングが奏効し、メイクアップ化粧品の受注が好調であったことに加え、原価低減施策に取り組んだ結果、利益を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は554百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は9百万円（前年同期は45百万円の営業損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、341百万円増加し、7,280百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が80百万円減少し、固定資産が422百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、平成24年6月13日付で公表しました「固定資産の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、茨城県つくば市に取得した固定資産（以下「つくば工場」という）の取得資金として定期預金252百万円を充当したことにより、現金及び預金が243百万円減少し、受取手形及び売掛金が151百万円、たな卸資産が90百万円増加し、その他が79百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建物及び構築物が21百万円減少し、機械装置及び運搬具が87百万円、土地が163百万円、その他が188百万円増加したことによるものであります。このうち、土地及びその他の主な増加要因は、つくば工場の取得によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、294百万円増加し、5,654百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が61百万円増加し、固定負債が232百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金が58百万円、短期借入金が49百万円、未払法人税等が20百万円、賞与引当金が46百万円増加し、役員賞与引当金が24百万円、その他が89百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が334百万円増加し、社債が100百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、47百万円増加し、1,626百万円となりました。主な増加要因は、株主資本が、当第2四半期連結会計期間の利益剰余金が50百万円増加し、1,744百万円となりましたが、為替換算調整勘定が前連結会計年度末より4百万円減少したため、その他の包括利益累計額が2百万円減少して△118百万円となったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より244百万円減少して437百万円となりました。主な減少要因はつくば工場の取得によるものであります。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、87百万円（前年同期は151百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益187百万円、減価償却費145百万円、仕入債務の増加額68百万円、賞与引当金の増加額46百万円、支払利息35百万円、法人税等の還付額20百万円、その他14百万円から得られた資金から売上債権の増加額161百万円、未払金の減少額118百万円、たな卸資産の増加額92百万円、利息の支払額36百万円、役員賞与引当金の減少額24百万円を差し引いた結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、557百万円（前年同期は145百万円の増加）となりました。これは主に、つくば工場の取得による支出370百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、227百万円（前年同期は391百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,070百万円と長期借入金の返済による支出686百万円、社債の償還による支出100百万円、配当金の支払額64百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年4月17日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（表示方法の変更）

前連結会計年度において連結貸借対照表の流動負債の「その他」に含めて表示しておりました従業員に対する賞与につきまして、実態に即したより適切な開示を行うため、第1四半期連結会計期間より「賞与引当金」として区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の「その他」に表示しておりました42,884千円は、「賞与引当金」として組替えております。

（賞与引当金）

当社は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち、当四半期連結会計期間末における負担額を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,300	573,622
受取手形及び売掛金	1,677,126	1,828,797
たな卸資産	960,548	1,050,665
その他	253,976	174,815
貸倒引当金	△569	—
流動資産合計	3,708,382	3,627,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,197,045	1,175,348
機械装置及び運搬具（純額）	286,293	373,318
土地	1,187,580	1,351,521
その他（純額）	88,343	276,500
有形固定資産合計	2,759,263	3,176,689
無形固定資産	198,001	194,606
投資その他の資産		
投資有価証券	166,760	166,362
その他	157,623	165,191
貸倒引当金	△51,369	△50,364
投資その他の資産合計	273,013	281,188
固定資産合計	3,230,278	3,652,485
資産合計	6,938,660	7,280,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	967,380	1,026,350
短期借入金	1,282,610	1,332,141
1年内償還予定の社債	200,200	200,200
未払法人税等	—	20,089
賞与引当金	42,884	89,272
役員賞与引当金	24,200	—
偶発損失引当金	2,014	1,974
その他	794,195	704,785
流動負債合計	3,313,485	3,374,814
固定負債		
社債	299,700	199,600
長期借入金	1,387,575	1,721,736
退職給付引当金	65,735	68,353
役員退職慰労引当金	172,910	172,910
その他	120,648	116,882
固定負債合計	2,046,568	2,279,481
負債合計	5,360,054	5,654,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	552,749	552,749
資本剰余金	781,854	781,854
利益剰余金	362,230	412,513
自己株式	△2,114	△2,150
株主資本合計	1,694,720	1,744,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,316	19,271
繰延ヘッジ損益	△8,675	△6,780
為替換算調整勘定	△126,755	△131,366
その他の包括利益累計額合計	△116,114	△118,876
純資産合計	1,578,606	1,626,091
負債純資産合計	6,938,660	7,280,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)
売上高	3,637,034	3,756,100
売上原価	2,879,139	3,014,030
売上総利益	757,895	742,070
販売費及び一般管理費	508,358	521,398
営業利益	249,536	220,671
営業外収益		
受取利息	74	55
受取配当金	4,136	4,596
保険解約返戻金	1,901	—
その他	4,083	6,558
営業外収益合計	10,196	11,210
営業外費用		
支払利息	43,664	35,183
社債発行費	1,859	—
寄付金	10,448	—
その他	3,262	9,340
営業外費用合計	59,234	44,524
経常利益	200,498	187,358
特別利益		
固定資産売却益	5,843	—
特別利益合計	5,843	—
特別損失		
固定資産除却損	4,166	334
退職給付制度改定損	69,450	—
特別損失合計	73,617	334
税金等調整前四半期純利益	132,724	187,023
法人税、住民税及び事業税	3,639	14,456
法人税等調整額	△145,437	57,591
法人税等合計	△141,797	72,047
少数株主損益調整前四半期純利益	274,522	114,975
四半期純利益	274,522	114,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	274,522	114,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,974	△45
繰延ヘッジ損益	△6,737	1,894
為替換算調整勘定	46,150	△4,611
その他の包括利益合計	33,438	△2,762
四半期包括利益	307,961	112,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,961	112,213
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,724	187,023
減価償却費	134,443	145,709
賞与引当金の増減額 (△は減少)	44,106	46,388
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△24,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△29,944	4,092
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55	△569
受取利息及び受取配当金	△4,211	△4,652
支払利息	43,664	35,183
社債発行費	1,859	—
固定資産売却損益 (△は益)	△5,843	—
固定資産除却損	4,166	334
売上債権の増減額 (△は増加)	△167,551	△161,317
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61,436	△92,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,879	68,216
未払金の増減額 (△は減少)	15,925	△118,174
未払消費税等の増減額 (△は減少)	101	△1,589
その他	112,888	14,876
小計	200,067	98,685
利息及び配当金の受取額	4,231	4,652
利息の支払額	△45,427	△36,452
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,836	20,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,034	87,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△74,500	△52,000
定期預金の払戻による収入	127,000	52,000
有形固定資産の取得による支出	△46,611	△554,484
有形固定資産の売却による収入	144,060	—
無形固定資産の取得による支出	△4,870	△2,815
投資有価証券の取得による支出	—	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	145,077	△557,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△390,000	—
長期借入れによる収入	850,000	1,070,000
長期借入金の返済による支出	△835,010	△686,308
社債の発行による収入	98,140	—
社債の償還による支出	△66,700	△100,100
自己株式の取得による支出	△30	△35
リース債務の返済による支出	△11,141	△5,858
配当金の支払額	△42,853	△64,287
その他	6,544	13,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391,051	227,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,770	△1,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△91,168	△244,048
現金及び現金同等物の期首残高	741,330	681,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	650,161	437,138

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,154,686	482,348	3,637,034	—	3,637,034
セグメント間の内部売上高又は 振替高	30,632	—	30,632	△30,632	—
計	3,185,318	482,348	3,667,667	△30,632	3,637,034
セグメント利益又は損失(△)	297,287	△45,166	252,120	△2,584	249,536

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,584千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,201,833	554,267	3,756,100	—	3,756,100
セグメント間の内部売上高又は 振替高	36,452	—	36,452	△36,452	—
計	3,238,286	554,267	3,792,553	△36,452	3,756,100
セグメント利益	211,573	9,146	220,720	△48	220,671

(注) 1. セグメント利益の調整額△48千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。